

消防千葉

2019 No.569 令和元年6・7月号

令和元年7月1日 編集兼発行人

千葉県市原市菊間 783-1 千葉県消防学校内

公益財団法人千葉県消防協会会長 石橋 毅

TEL0436(37)1710

郵便番号 290-0007

ホームページ <http://business4.plala.or.jp/chisyo/>

メールアドレス chisyokai@bz04.plala.or.jp



佐久間地区祭礼（鋸南町）安房支部

巻 頭 言

「消防体制の現状と消防団の活動成果」

浦安市消防長 宇田川 智久



浦安市の常備消防は、昭和49年4月1日に発足し、現在1本部・1消防署・3出張所の体制で消防業務を行っています。

本市の特徴として、木造住宅が多い昔ながらの町並を残す「元町地区」と鉄筋コンクリート造の高層マンションが林立する「新町地区」に分けることができます。環境特性が異なることから、地域性を勘案したきめ細かい消防行政を展開していく必要があります。

その一例として、火災発生時の初期消火対策のため、平成30年度より、浦安市の全世帯を対象に無償で住宅用消火器を貸し出す事業を開始しました。有事の際の備えとして、消火器がより多くの市民に行き渡るよう期待を寄せるものです。

また、本市は全国一のアーバンリゾートゾーンを抱えており、テーマパーク、商業施設、ホテルなど多くの人が訪れるまちとなっていることから、滞在人口の増加にも注視する必要があり、今後は、住んでいる市民や働いている方にも、浦安市を訪れていただく方にも、より安全・安心なまちであるため、更なる消防力の強化が必要であると考えています。

非常備消防につきましては、近年、社会情勢や雇用形態の変化に伴い、消防団員の確保が大変困難な状況にあります。これまでの消防団は男性中心で組織されていましたが、男女が均等に活躍し、その能力が発揮される新時代に即した新しい消防団が求められており、平成15年11月に本市初の女性消防団員が誕生しました。

日頃の訓練成果を競う消防操法大会では、ポンプ車の部において、過去10年間の大会では東葛飾支部9市の消防団が競う東葛飾支部消防操法大会をすべて勝ち抜き、県大会では最優秀賞3回、優秀賞を2回受賞するなど常に上位入賞を果たしています。

さらに、将来の地域防災の担い手育成を目的として、平成24年4月に発足した「浦安市少年消防団」は、消防団員が中心となり指導を行っています。平成30年度からは、救急に関する知識と技術を習得し、市民に心肺蘇生法やAEDを指導する「浦安市少年消防団救急リーダー」を発足し、さらに活動の幅を広げています。平成30年8月1日から3日に本市で開催された少年消防クラブ交流会（全国大会）では、合同訓練で念願でありました全国優勝を果たし、消防団員、少年消防団員が活動発表等を実施し、成功裏に交流会を終えることができました。様々な活動を通じ保護者から消防団に入団した団員もおり、将来は少年消防団の卒団者から消防団への入団も期待しています。

このような数々の功績が評価され、平成31年3月5日に開催されました第71回日本消防協会定例表彰式において、消防団として最高榮譽である「特別表彰まとい」を拝受いたしました。

今後も、常備消防と非常備消防はともに手を携え、消防行政を取り巻く諸問題には果敢に取り組み、市民の安全・安心を守るため、消防体制の更なる充実・強化に努めてまいります。

平成31年度(公財)千葉県消防協会 定時理事会・定時評議員会の開催

(公財) 千葉県消防協会の平成30年度事業報告・収支決算等を議決。

令和元年5月24日(金)、平成31年度(公財)千葉県消防協会の定時理事会が千葉市内で開催されました。

午後4時、石橋会長のあいさつに始まり、副会長の選定が行われたところで、新たに役員となられた皆様へ委嘱状の交付が行われました。副会長には、兼巻重義理事(千葉市消防局長)、渡邊浩臣理事(勝浦市消防団長)が選定されました。

再開後、顧問の推薦、平成30年度事業報告及び収支決算の承認、評議員会の開催の決議など6議案が原案どおり決議されました。



定時理事会(会長挨拶)



会長・副会長

6月12日(火)午前11時から定時評議員会が千葉市内で開かれ、まず初めに新たに評議員となられた皆様へ委嘱状の交付後、石橋毅会長の挨拶、平成30年度事業報告及び収支決算の承認など原案どおり決議されました。

このたび、選定された(公財)千葉県消防協会の新役員等及び推薦された新顧問等は次のとおりです。



定時評議員会

令和元年度千葉県消防協会役員・評議員等名簿

令和元年6月1日現在在

| 職 名 | | 氏 名 | 備 考 | |
|------|--------|------------------|-----------------------|---|
| 役 員 | 最高名誉顧問 | 倉田 寛之 | | |
| | 特別顧問 | 石井 利孝 | | |
| | 会 長 | 石橋 毅 | | |
| | 副 会 長 | 兼巻 重義 | 消防長会（千葉市消防局長） |  |
| | | 小田山博史 | 東葛飾支部長（柏市消防団長） | |
| | | 鈴木 格 | 海匝支部長（旭市消防団長） | |
| | | 斉藤 弘一 | 印旛支部長（八街市消防団長） | |
| | | 渡邊 浩臣 | 夷隅支部長（勝浦市消防団長） | |
| | 理 事 | 河上 茂 | （公財）千葉県消防協会 | |
| | | 高橋 章夫 | 千葉支部長（八千代市消防団長） | |
| | | 齋藤 浩勝 | 香取支部長（香取市消防団長） | |
| | | 植松 一夫 | 山武支部長（東金市消防団長） | |
| | | 小高 一夫 | 長生支部長（長生郡市消防団長） | |
| | | 君塚 弘和 | 安房支部長（南房総市消防団長） | |
| | | 小原 幸春 | 君津支部長（君津市消防団長） | |
| | | 杉田 昭一 | 消防長会（栄町消防本部消防長） | |
| | | 高橋 広一 | 消防長会（君津市消防本部消防長） | |
| | | 久本 修 | 千葉県防災危機管理部消防課長 | |
| | | 淡路 武夫 | 千葉県消防学校長 | |
| | | 専務理事 | 玉井日出夫 | （公財）千葉県消防協会 |
| 常務理事 | | 安西 隆 | （公財）千葉県消防協会 | |
| 監 事 | 川上 英明 | 東葛飾支部（鎌ヶ谷市消防団長） | | |
| | 川上 賢二 | 印旛支部（印西市消防団長） | | |
| | 宇田川智久 | 消防長会（浦安市消防本部消防長） | | |
| | 草薙 信久 | 公認会計士 | | |
| 評議員 | 千 葉 | 小柳 勝則 | 市原市消防長 |  |
| | | 佐藤 薫 | 千葉市消防団長 | |
| | 東 葛 飾 | 北野浩一郎 | 流山市消防長 | |
| | | 井戸 知一 | 船橋市消防団長 | |
| | 印 旛 | 須藤 達也 | 印西地区消防組合消防長 | |
| | | 村島 義則 | 成田市消防団長 | |
| | 香 取 | 本宮 弘資 | 香取広域市町村圏事務組合消防本部消防長 | |
| | | 熊澤 信宏 | 香取広域市町村圏事務組合多占町消防団長 | |
| | 海 匝 | 菅澤 信博 | 銚子市消防長 | |
| | | 秋山 忠史 | 匝瑳市消防団長 | |
| | 山 武 | 佐久間 健 | 山武郡市広域行政組合消防本部消防長 | |
| | | 北田 宏彦 | 大網白里市消防団長 | |
| | 長 生 | 東條 秀明 | 長生郡市広域市町村圏組合消防本部消防長 | |
| | | 長谷川秀一 | 長生郡市広域市町村圏組合消防副団長 | |
| | 夷 隅 | 東條 薫 | 夷隅郡市広域市町村圏事務組合消防本部消防長 | |
| | | 荘司 正博 | いすみ市消防団長 | |
| | 安 房 | 石崎 昌史 | 安房郡市広域市町村圏事務組合消防本部消防長 | |
| | | 吉野 隆志 | 館山市消防団長 | |
| | 君 津 | 岩崎 脩 | 富津市消防長 | |
| | | 石井 輝之 | 富津市消防団長 | |

新たに就任した（公財）千葉県消防協会の顧問

石塚 正徳（前副会長：前千葉市消防局長） 小川 総夫（前副会長：前芝山町消防団長）
 小磯 勇二（前理事：前君津市消防本部消防長） 原 久男（元理事：前千葉市消防団長）
 高橋 廣孝（元監事：前市川市消防団長）

令和元年度千葉県少年婦人防火委員会及び 千葉県婦人防火クラブ連絡協議会を開催

千葉県少年婦人防火委員会(会長 石橋 毅)は、令和元年5月31日、千葉市内において開催され、①平成30年度の事業報告及び歳入歳出決算 ②令和元年度の事業計画(案)及び歳入歳出予算(案)について審議し、全議案について原案通り承認されました。

また、千葉県婦人防火クラブ連絡協議会(会長 竹内久子)は、令和元年5月17日、千葉市内において協議会を開催され、①平成30年度の事業報告及び歳入歳出決算 ②令和元年度の事業計画(案)及び歳入歳出予算(案)について審議し、全議案について原案通り承認されました。

令和元年度千葉県少年婦人防火委員会及び婦人防火クラブ連絡協議会事業計画

| 事業名 | 実施年月日 | 実施場所 | 事業内容 |
|---|--|--|---|
| 1. 研修会 (1)防火委員会研修会 | 令和2年1月24日 共催 ・日本防火・防災協会 ・少年婦人防火委員会 ・婦人防火クラブ連絡協議会 | 千葉県消防学校 | 防災意識の高揚と防火知識の普及を図るため、地域に密着した防火クラブの指導員・消防関係者等を対象に研修を行う。 ・住宅防火対策 ・優良婦人防火クラブの事例発表 道野辺第1区自治会本町婦人防火クラブ(予定) ・防災知識・技術等の学習 各市町村婦人(女性)防火クラブ員の参加 |
| 2. 啓発宣伝 (1)防火思想の普及啓発 ・婦防連への助成等 (2)関東ブロック会議 | 平成31年4月 ～令和2年3月 令和元年 11月5日～6日 | 市町村消防本部 並びに消防団 埼玉県 | 広く防災思想の普及、啓発を行うため、小・中学生から防災ポスターを募集し、「防災ポスター展」を開催するとともに、秋の火災予防期間中に防災ポスター(県・消防(局)本部・消防協会との連名)を印刷・配布する。 ・婦防連の活動経費の一部を助成する。 「令和元年度関東地区女性防火クラブ連絡協議会幹部地域研修会」を埼玉県で開催。 会長・副会長等の参加。 |
| (3)諸事業への参加協力 | 随時 令和元年10月28日 令和元年10月29日 令和2年1月下旬 | 県下各地区 東京都 東京都 東京都 | 各市町村消防機関の実施する諸事業に積極的に参加する 「女性(婦人)防火クラブ全国大会」役員参加 「第20回応急手当普及啓発推進会議」役員参加 「全国婦人防火連合会総会」役員参加 |
| 3. 地区活動 | 平成31年4月 ～令和2年3月 | 市町村消防本部 | 春秋の火災予防運動期間中等、各種防火クラブ員および消防関係者と密接な連帯のもとに、消火訓練並びに消防施設見学等、火災予防の啓発を行う。 |
| 4. 諸会議 | 令和元年5月31日 令和元年5月17日 | 千葉市 ポートプラザちば | 千葉県少年婦人防火委員会会議 千葉県婦人防火クラブ連絡協議会会議 |
| 5. 防火大会及び表彰 | 令和2年3月17日 共催 ・千葉県 ・千葉県消防協会 ・少年婦人防火委員会 | 青葉の森公園 芸術文化ホール | 県、消防協会、少年婦人防火委員会共催による「第70回千葉県消防大会」において、「第34回千葉県少年婦人防火大会」を開催し、地域の防火防災思想普及啓発のために積極的に活動した幼年消防クラブ、少年消防クラブ、婦人防火クラブの優良3団体へ表彰を行う。 |

令和元年度 消防(局)長 令和元年6月1日現在

| 所 属 | 消防(局)長氏名 | 所 属 | 消防(局)長氏名 |
|--------------------|----------|--------------------|----------|
| 千葉市消防局 | 兼巻 重義 | 流山市消防本部 | 北野浩一郎 |
| 市川市消防局 | 本住 敏 | 市原市消防局 | 小柳 勝則 |
| 銚子市消防本部 | 菅澤 信博 | 八千代市消防本部 | 小澤 義昭 |
| 船橋市消防局 | 高橋 聡 | 山武郡市広域行政組合消防本部 | 佐久間 健 |
| 安房郡市広域市町村圏事務組合消防本部 | 石崎 昌史 | 旭市消防本部 | 川口 和昭 |
| 木更津市消防本部 | 岡田 清治 | 君津市消防本部 | 高橋 広一 |
| 香取広域市町村圏事務組合消防本部 | 本宮 弘資 | 鎌ヶ谷市消防本部 | 松本 禎久 |
| 長生郡市広域市町村圏組合消防本部 | 東條 秀明 | 富津市消防本部 | 岩崎 脩 |
| 野田市消防本部 | 菅野 透 | 夷隅郡市広域市町村圏事務組合消防本部 | 東條 薫 |
| 松戸市消防局 | 島本 幸夫 | 四街道市消防本部 | 西岡 亨 |
| 習志野市消防本部 | 高澤 寿 | 浦安市消防本部 | 宇田川智久 |
| 柏市消防局 | 村井 浩 | 印西地区消防組合消防本部 | 須藤 達也 |
| 我孫子市消防本部 | 深山 和義 | 袖ヶ浦市消防本部 | 大野 勝美 |
| 佐倉市八街市酒々井町消防組合消防本部 | 豊田 光弘 | 富里市消防本部 | 伊藤 裕之 |
| 成田市消防本部 | 大野 勝也 | 栄町消防本部 | 杉田 昭一 |
| 匝瑺市横芝光町消防組合消防本部 | 佐久間三喜男 | | |

令和元年度 消防団長 令和元年6月1日現在

| 支 部 | 市町村(組合) | 団長氏名 | 支 部 | 市町村(組合) | 団長氏名 |
|-------|---------|---------|---------|--------------|-------|
| 千葉支部 | 千 葉 市 | 佐藤 薫 | 海匝支部 | 銚 子 市 | 芝岸 弘 |
| | 習 志 野 市 | 池田 博 | | 匝 瑺 市 | 秋山 忠史 |
| | 市 原 市 | 大野 藤夫 | | 旭 市 | 鈴木 格 |
| | 八 千 代 市 | 高橋 章夫 | | 東 金 市 | 植松 一夫 |
| 東葛飾支部 | 市 川 市 | 安達 博 | 山武支部 | 山 武 市 | 土屋 博文 |
| | 船 橋 市 | 井戸 知一 | | 大 網 白 里 市 | 北田 宏彦 |
| | 松 戸 市 | 小嶋 功 | | 九 十 九 里 町 | 古川 克俊 |
| | 野 田 市 | 染谷 賢一 | | 芝 山 町 | 萩原 貴男 |
| | 柏 市 | 小田山博史 | | 横 芝 光 町 | 須合 一嘉 |
| | 流 山 市 | 小倉 邦裕 | 長生支部 | 長生郡市広域市町村圏組合 | 小高 一夫 |
| | 我 孫 子 市 | 吉田喜一郎 | 夷隅支部 | 勝 浦 市 | 渡邊 浩臣 |
| | 鎌 ヶ 谷 市 | 川上 英明 | | い す み 市 | 荘司 正博 |
| 浦 安 市 | 大川 三敏 | 大 多 喜 町 | | 齋藤 信一 | |
| 印旛支部 | 成 田 市 | 村島 義則 | 安房支部 | 御 宿 町 | 井上 和美 |
| | 佐 倉 市 | 板倉 和雄 | | 館 山 市 | 吉野 隆志 |
| | 四 街 道 市 | 塚本 正英 | | 鴨 川 市 | 佐藤 則泰 |
| | 八 街 市 | 斉藤 弘一 | | 南 房 総 市 | 君塚 弘和 |
| | 印 西 市 | 川上 賢二 | 君津支部 | 鋸 南 町 | 大胡 昌広 |
| | 白 井 市 | 中村 教雄 | | 木 更 津 市 | 地曳 貞夫 |
| | 富 里 市 | 秋葉 政則 | | 君 津 市 | 小原 幸春 |
| | 酒 々 井 町 | 関根 勇夫 | | 富 津 市 | 石井 輝之 |
| 香取支部 | 栄 町 | 根本 貴博 | 袖 ヶ 浦 市 | 佐久間 貢 | |
| | 香 取 市 | 齋藤 浩勝 | | | |
| | 神 崎 町 | 遠藤 栄治 | | | |
| | 多 古 町 | 熊澤 信宏 | | | |
| | 東 庄 町 | 岩瀬 隆 | | | |

第44回 消防救助技術千葉県大会

千葉県消防長会

6月4日(火)市原市に移転した千葉県消防学校において、第44回消防救助技術千葉県大会を開催しました。

本大会には、県内30消防本部から188組550名の隊員が出場し、7種目(基礎訓練2種目・連携訓練5種目)において、平素練磨した救助技術の成果を発表するとともに、大会を通じて、隊員相互の連帯意識の高揚を図りました。当日は、大勢の見学者がご来場くださり、大声援のもと隊員の熱戦が繰り広げられました。

各訓練の結果、以下の隊員が上位大会へ出場します。

開会式



隊員宣誓
・山武郡市
伊藤 慶紀



基礎訓練

【はしご登はん訓練】
垂直のはしごを15m登る訓練



・安房郡市/石井沢実(県1位)
(全国大会出場)

【ロープブリッジ渡過訓練】
展張した20mの水平ロープを往路はセーラーで復路はモンキーで渡る訓練



・旭市 大久保一樹(県1位)
(全国大会出場)

連携訓練

【ロープ応用登はん訓練】
地上15mの到達地点まで器具を使わずロープのみで登る訓練



・匝瑳市/古瀬尚樹・佐藤祐輔(県1位)
(全国大会出場)

【ほふく救出訓練】
煙道を検索して要救助者を救出する訓練



・香取広域/遠藤竜次・一鍛田和樹・篠塚拓紀
(県1位)(全国大会出場)



【引揚救助訓練】

塔下にいる要救助者を搭まで救出する訓練

関東地区指導会出場 4 チーム

- ← ・市川市 (県1位)
金子真也・田島誠光・武田勇氣・田中道智・遠藤大亮
- ・成田市
宮島 厚・川嶋容助・植田浩一郎・鈴木陽大・宮内隆充
- ・野田市
荒川 清・鈴木裕貴・森田恭平・戸塚祐希・小久保耀太
- ・浦安市
金林正人・金木 大・小西雄真・大塚純也・松崎亮斗



【ロープブリッジ救出訓練】

展張した20mの水平ロープを渡り要救助者を救出する訓練

関東地区指導会出場 4 チーム

- ← ・匝瑳市 (県1位)
古作侑也・土屋大樹・森 裕紀・仲田 司
- ・佐倉市
石塚誠二・佐藤文哉・石川瑛一・中垣雄太
- ・船橋市
尾内良輔・安藤勇氣・池田慎太郎・北村勇人
- ・柏 市
伊藤新太郎・関 直樹・月舘健太郎・川原達也



【障害突破訓練】

5箇所の障害(高塀・はしご・渡過・降下・煙道)を突破する訓練

関東地区指導会出場 4 チーム

- ← ・千葉市 (県1位)
児玉龍太・稲見 康・林 直孝・泉 達也・秋山 亮
- ・成田市
久保木慎也・大森脩登・布留川拓耶・小林史和・菅澤周太
- ・松戸市
藤山 光・尾崎 徹・大柴利樹・田中翔太・郷原昇悟
- ・市川市
田中亮介・小島拓也・相葉雄貴・飯迫 諒・田村 誠

《おわりに》

来る7月5日(金)の関東地区指導会(長野県)及び8月25日(日)の全国大会(岡山市)に、千葉県代表として出場される隊員のご活躍を期待しますとともに、皆様からのご声援をお願いいたします。

消防ロボットシステムによる 特殊装備小隊を発足 市原市消防局



令和元年5月24日(金)市原市消防局において消防ロボットシステムによる特殊装備小隊【スクラムフォース】の発足式を行いました。

総務省消防庁は、石油コンビナート等において特殊な災害が発生し、消防隊員が現場に近づけない状況において、災害の拡大抑制を行う消防ロボットシステムの研究開発を、平成26年度から5年計画で進めてきました。そして今回、実戦配備型の消防ロボットシステムが完成し、全国で初めて国の無償使用制度により、市原市に配備されました。



小柳消防長と小出市長



黒田消防庁長官より
部隊旗の授与

スクラムフォースを構成する各ロボット

飛行型偵察・監視ロボット

スカイ・アイ

走行型偵察・監視ロボット

ランド・アイ



放水砲ロボット
ウォーター・キャノン



ホース延長ロボット
タフ・リーラー



消防ロボットシステムによる
特殊装備部隊員

スクラムフォースは、飛行型偵察・監視ロボット、走行型偵察・監視ロボット、放水砲ロボット、ホース延長ロボット及び指令システムで構成され、すべてが1台の車両に積載されています。それぞれのロボットが自律的に活動し、収集したデータを指令システムが解析して消防隊員に最適な消防活動を提案してくれます。

東日本大震災での市原市LPG貯蔵施設の爆発火災や、姫路市の製造所での爆発火災の教訓を踏まえ、消防隊員が現場に近づけない状況において、より安全に、より効率的に災害に対応します。

東 西 南 北

東 西 南 北 外国人傷病者対応訓練を実施しました！ 千葉市消防局

東京 2020 オリンピック・パラリンピック開催も間近に迫り、今後更に来日する外国人の増加が見込まれる中、緑消防署では千葉市在住の外国人ボランティアの協力もと、平成 31 年 1 月 25 日・26 日千葉市消防学校において「外国人傷病者対応訓練」を実施しました。

国際交流協会の外国人ボランティアの方々（6ヶ国・計 15 名）を招き、外国人傷病者に見立て、救急車積載のタブレットにインストールされている救急翻訳アプリ「ボイストラ」を活用して、「どこが痛いですか」「いつから痛いですか」等をその国籍に適した外国語で質問し、病院搬送までの想定訓練を行いました。

職員はもとより傷病者役のボランティアの方々からも「参考になった!」という声が聞かれ、今後に向けて非常に実りある訓練となりました。



東 西 南 北 文化財防火デーに伴う防災訓練を実施 柏市消防局

平成 31 年 1 月 26 日（土）の文化財防火デーに、千葉県指定有形文化財に登録されている布施弁天紅龍山東海寺にて、消防職・団員と東海寺職員で防災訓練を実施しました。

本堂内の灯明から出火という想定で、文化財の防火運動及び愛護意識の高揚を目的とし、初期消火、119 番通報、避難誘導、重要物品の搬出、一斉放水を行いました。

1200 年以上の歴史ある布施弁天を守り続けるため、今後も柏市全体で文化財の保護に取り組んでいきます。



東 西 南 北 「第65回文化財防火デー」に伴う消防訓練 船橋市消防局

平成 31 年 1 月 28 日（月）に船橋市宮本 5 丁目 2 番 1 号 船橋大神宮境内にて「第 65 回文化財防火デー」に伴う消防訓練を実施しました。

この訓練では、近隣の小学生による灯明台の見学、水消火器やミニ車を使用した放水体験訓練と、地域住民も含めた起震車による地震体験や煙中体験を行いました。

訓練の最後には、灯明台付近の枯れ草からの出火想定のもと、船橋大神宮神職による通報及び初期消火訓練を実施しました。さらに、地元の消防団と中央消防署の車両が灯明台の延焼阻止のため一斉放水を行い、見学に来ていた約 450 人の地域住民や、近隣の小学生たちから大きな歓声が上がりました。



松戸市小金連合町会南地区総合防災訓練を実施

東
西
南
北

松戸市消防局 小金消防署

松戸市小金消防署は、1月29日に松戸市立小金小学校において松戸市小金連合町会南地区総合防災訓練を実施した。千葉北西部を震源とする地震により当市に甚大な被害が発生したとの想定で、小金小学校に避難してきた近隣住民と小金小学校・小金南中学校の生徒が主体となり避難所の開設、初期消火、応急救護訓練等の自助・共助に特化した訓練を実施し、自分たちのまちは自分たちで守るという意気込みの中、いつ起こるか分からない地震に備えて住民一人ひとりが真剣に訓練に取り組んでいました。



平成30年度千葉県消防長会警防防災委員会研修会を開催

東
西
南
北

船橋市消防局

船橋市消防局では、平成31年2月1日(金)、船橋市勤労市民センターにおいて千葉県下消防職員を対象とし、平成30年度千葉県消防長会警防防災委員会研修会を開催しました。

当研修会では、消防庁消防研究センターから新井場公德氏を講師に招き、「地震災害及び土砂災害」をテーマに、地震や豪雨時において発生する土砂災害のメカニズムや現場の安全管理等についての講演をしていただき、大変有意義な研修会となりました。



救急活動総合シミュレーション訓練

東
西
南
北

松戸市消防局

松戸市消防局は、31年2月6日と7日の2日間、松戸市消防局講堂において、救急隊全隊(11隊)による「救急活動総合シミュレーション訓練」を実施した。

この訓練は、安全で迅速かつ合理的な救急活動を構築できることを目標とし、救急現場で起こり得る想定に対しての実働訓練を実施後に検討会を行い、指導救命士、方面担当救命士及び松戸市立総合医療センターの救命救急センター医師から活動に対するフィードバックを受ける2部構成の内容で実施した。

参加した救急隊員は、このような訓練を実施した経験は初めてであった。医師から直接フィードバックを受けることができ、とても良い刺激であった。頂いたアドバイスを現場での活動に活かしたいと語った。



東 西 北 安全確実な車両運行を 東 南 北 千葉市消防局

当消防局では、平成 31 年 2 月 12 日、13 日の 2 日間、消防総合センターに於いて、機関員業務の経験が 3 年から 10 年の職員を対象に「機関員講習会」を実施し 70 名が受講しました。

株式会社野口ポンプ製作所から講師を招き、専門的視点から消防ポンプ自動車の基本構造や操作方法、緊急時の対応要領について講義いただき、適切にポンプを運用するためのより深い知識も得ることができました。

今後も「機関員教育」を継続的に行い、安全確実な運行及び職員の知識・技術の向上を図っていきます。



東 西 北 「スーパーレスキュー千葉：SRC」総合訓練を実施 東 南 北 千葉市消防局

当消防局では、平成 31 年 2 月 12 日（火）、千葉市消防総合センターにおいて、国際消防救助隊の活動要領に基づき、海外被災地での災害を想定し、土砂災害及び座屈建物からの搜索、救出等の総合訓練を実施しました。

日本の国際消防救助隊は、世界最高レベルの能力評価（ヘビー級）設定を受けており、被災地で 24 時間 10 日間の連続搜索活動が可能な能力を有しています。

緑消防署特別高度救助隊（スーパーレスキュー千葉：SRC）は海外被災地で迅速かつ安全な搜索活動を実施するため日々訓練を重ねています。

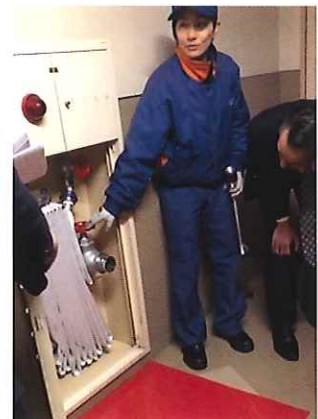


東 西 北 ホテルにおける自衛消防力の強化訓練を実施 東 南 北 浦安市消防本部

浦安市消防本部では、平成 31 年 2 月 15 日（金）、管内の大型ホテル施設である浦安ブライトンホテルにおいて、同ホテル自衛消防隊の本部隊及び地区隊の隊長を対象とした消火器及び屋内消火栓設備を活用した消火訓練を実施しました。

2020 年の東京オリンピック・パラリンピックの開催を機に、多数の外国人来訪者や障がいを持つ方々など多くのゲストの施設利用が予想されます。

この訓練をきっかけに、今後は避難誘導等の多言語化や障がいなどの施設利用者の様々な特性に応じた対応訓練を実施し、効果的な自衛消防体制の整備に取り組んでいくものです。



東 西 公安職女性職員の集い 南 北 千葉市消防局

2月18日、千葉を守る女性たちが集結し、交流を深めました!

参加団体は、「千葉市消防局」と、この交流会にご賛同いただいた「千葉県警察本部」「海上保安庁 千葉海上保安部」の3機関。

グループディスカッションでは、女性を取りまく環境の“組織間の違い”について理解を深めつつ、活発な意見交換で交流を深めることができました。

同じ公安職同士、悩みどころも近い・・・他機関の意見は大変参考になるものでした!

組織の垣根を越えたつながりは、大変貴重ですね♪



東 西 ハラスメント防止研修会を開催 南 北 柏市消防局

柏市消防局では、総務省消防庁ハラスメント対策ワーキンググループに参加された講師を招き、2月8日、15日、22日の3日間にわたりハラスメント防止研修を開催し、総勢324名が参加しました。

ハラスメントへの理解度を全階級で同じ水準にするため、管理職と一般職合同で研修を実施しました。

適正な部下指導とは何か、消防吏員特有のハラスメントなど、事例を交えて講義いただき、職員のハラスメントに対する理解が一層深まる大変有意義な研修となりました。

今後は定期的の実態調査を兼ねたアンケートを実施し、風通しの良い職場風土の形成に取り組んでいきたいと思っております。



東 西 隣接市消防(三市)との現地活動イメージ訓練 南 北 松戸市消防局六実消防署

松戸市消防局六実消防署、柏市消防局沼南消防署高柳分署及び鎌ヶ谷市消防本部鎌ヶ谷消防署は、消防相互応援区域における消防活動の連携を強化するため毎年合同訓練を実施しています。

本年度は平成31年2月26日に、六実消防署管内の三市が会場となる区域を対象に現地活動イメージ訓練を行いました。

六実消防署での訓練開始報告の後、まず三市職員が松戸市消防局の隊員輸送車で現地に赴き、地理的特性や進入経路、水利状況等を把握し、それぞれの隊の消防活動を具体的にイメージしてもらいました。

その後、六実消防署で対象地域の消防活動についての意見交換や災害現場で必要な情報などについて検討会を行い、現地活動のイメージをより鮮明に共有することができました。

今後も継続的に三市合同訓練を実施し、市境を越えた「顔の見える関係」を強化し、消防相互応援区域における消防活動の連携を強化してまいります。



日々の動き

防災危機管理部／消防協会 共同編集

令和元年 7月

11日 消防長・消防団長会議

27日 千葉県消防操法大会



平成31年度 全国統一防火標語
「ひとつずつ いいね！で確認 火の用心」

令和元年
夏の交通安全運動
 7月10日(水)から7月19日(金)
 スローガン
～ 歩行者を 守る気づかい 思いやり ～

<表紙の説明>

佐久間地区祭礼（鋸南町）安房支部

毎年8月15日に佐久間地区祭礼が行われます。佐久間地区の屋台7台が祭囃子を響かせながら曳き廻し、20：00頃に旧佐久間小学校に集結します。グラウンドを走り回り、クライマックスには打ち上げ花火で締めくくられます。

